

【柱4】 地域の見守り支えあい

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値	
(1)地域における見守り支えあいの推進と、交流の場や機会の創出	●気軽に地域の情報に触れ、中野のまちに関心や愛着を持ち、区や地域を身近に感じることができるための取組を進める。 ●常日頃からの近所同士のつながりやあいさつ等、互いの顔が見え、困りごとがあった時に助け合えるような人間関係が構築される取組を進める	昔ながらのカレーを中学生までには無料で提供し、誰でも食事を楽しんで食べられるとともに、高齢者のひとり暮らしの方が来て交流ができる場としてよりどころを提供	みんなの食堂 南中野カレーの会	—	—	コロナ感染予防の為にテイクアウトで実施し参加延べ人数5,829人です。	—	
		居場所のない人や子育てが忙しい人のほか、初期認知症の人に対し傾聴(誰もが愛される存在であるということを感じてもらい)の場や食事の提供 実家の様に過ごせる場所を目標としている	ききみみサロン	—	—	実施回数:11回 / 年 参加者数:105名 / 延べ *2023.1月までは、すべて無料。 食事が備わらない方向けに昼食を提供。 その他の参加者にはお裾分けとして持ち帰り用惣菜を提供。 *2023.2月から参加費100円昼食代0円~400円に切り替え、昼食提供を開始。	—	
		求めてくれるすべての人に傾聴(安心して何でも話せる)の場を提供	傾聴ボランティアきくぞう	—	—	1対1での傾聴活動を実施 ●野方区民活動センター 1回/月 延36名 ●なかのZERO西館 1回/月 延34名 ●新井区民活動センター 1回/月 延18名 他、介護事業所等でも実施	—	
		○居場所提供(ミニデイ・子育て広場) ○家事援助(掃除、買い物、通院付き添い等) ○託児・話し相手(相談含む)	オアシスなべよこ	現状維持(コロナ前) 月1回高齢者ミニデイ、月2回子育てひろば 家事援助、託児等	—	—	高齢者ミニデイ10日開催(4月8日休み)開催はしましたが、昼食の提供はできませんでした。子育てひろば「いつでもおいデイ」時短で15回開催。講演会1回、研修会2回。	—
		人と人とが繋がる場の創出	NPO法人 リンク東山	年12回実施	—	—	●東山文化講座:10回実施。参加延人数210人 ●東山まつり:コロナ禍のため中止 ●折り紙教室:19回実施。参加延人数186人保育園児との交流はコロナ禍で中止。 ●東山サロン:10月再開。12回実施。参加延人数257人	—
		○映画上映会 みやもシアター ○週替わりカフェ みやもカフェ、ほっとサロン南口 オレンジカフェ、ももぞの茶屋	みま~も桃園	—	—	—	グループとしてカフェ、無料シアターの開催。 ①みやもカフェ第1木曜日 ②ホットサロン南口第2、第4木曜日 ③ももぞの茶屋第2水曜日 ④みやもシアター(無料映画会) ⑤陽だまりの輪カフェ第3回曜日、交流会第4土曜日に開催した。 参加者数はカフェ1回あたり30人~40人が参加している。 月間では130人~150人程度の参加者数となっている。	—
		ひな祭り、七夕、クリスマスなどにイベントを開催	やよいボランティアコーナー	—	—	—	5/20 総会 5/24 車いす講習会 20名参加 6/17 30周年記念式典 49名 7/6 セタ会食会 9/16 協力会員交流会 26名 10/16 地区まつりにバザー出店 11/18 講演会「特殊詐欺の被害防止について」 26名 12/20 クリスマス会食会 1/20 協力会員新年交流会 33名 2/17 役員・調整役のスマホ教室 3/3 ひな祭り会食会 3/18,19 フードバントリー協力 5名 その他、毎週火曜・金曜午前中に電話相談受付対応。 毎月第三火曜サロン開催 ※近隣の施設へのお手伝いは、新型コロナウイルスのため中止	—
		ミニサロンやランチの集いなどを開催	南中野ボランティアコーナー	—	—	—	ミニサロン、ランチの集いを月1回実施	—
		子育て世帯の方が活用できるよう、当事者目線で作成した商店街マップを提供	中野区商店街連合会	—	—	—	新型コロナウイルス感染症対策のため、活動を縮小した結果、取組を自粛した。次年度は、感染状況及び感染症の状況を見極めながら、活動を再開したい。	—

【柱4】 地域の見守り支えあい

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(1)地域における見守り支えあいの推進と、交流の場や機会の創出	<p>●気軽に地域の情報に触れ、中野のまちに関心や愛着を持ち、区や地域を身近に感じることができるための取組を進める。</p> <p>●常日頃からのご近所同士のつながりやあいさつ等、互いの顔が見え、困りごとがあった時に助け合えるような人間関係が構築される取組を進める</p>	宅配サービス、店舗での見守り活動	生活協同組合コープみらい	—	—	・中野区内 宅配時の見守り活動からの連携・対応事例 3件 ・中野区内店舗での救護事例 2件	—
		○区民活動センターでの様々なグループの活動への入り口の提供 ○おしゃべりできる場の提供	新井区民活動センター運営委員会	—	—	新型コロナウイルスの影響で不特定多数を対象とする居場所作りのサロン活動は行わなかった。	—
		いろいろとりどり 障害児者とその家族向けの茶話会、企画講座など開催、ペアレントメンター活動、安心して過ごせる居場所提供等	NPO法人わかみやクラブ	—	—	茶話会(相談会)24回延べ149人参加 ミニ講座・企画講座 6回延べ73人参加 発達障害青年居場所(いろいろユース)6回延べ参加46人	—
		○ATMや窓口での振り込み手続きや大口の現金支払いを申し出てくる来店客に対して「振り込み詐欺」かもしれないという目線で声をかけます。場合によって警察署とも連携 ○「困っている来店客」へ特に丁寧な対応を心がける	みずほ銀行 中野支店	—	—	●ATMや窓口の手続で当行側が心配に感じる手続内容については、お客さまの尊厳を大切にしながら都度丁寧にヒアリング。防犯上危ないと思う手続は別の方法を提案する等声かけを行った。 ●また個人営業課は担当顧客との接点を強化し、困った際の相談相手となる信頼関係を構築。振り込み詐欺未然防止で警察からも表彰された。	—
		来店客で様子が気になる方がいれば声をかけるなど、ゆるやかな見守りを行う	(株)セブンイレブンジャパン	—	—	●各加盟店の協力により、来店されるお客様の様子について、ゆるやかな見守りを実施。その場の状況や必要に応じて、声掛けをするなどの活動に取組み。	—
		○配達時に組合員や配達エリアの住民の見守り(先週の配達物が残っていないか、郵便ポストに新聞や郵便物がたまっていないか等) ○見守り安心サービスに登録している 組合員には、毎週配達した際に在宅・不在などの状態を家族の方のメールアドレスに配信	生活協同組合 パルシステム 東京 練馬配送センター	—	—	9/27「Zoom学習会」及び見守り安心サービスのご案内 1/23 PM/練馬区高齢者見守り連絡会に参加 1/26 パルシステムの委員会向けに見守り安心 サービスの説明を開催 1/27 ICT機器活用事例紹介講座に参加 3/3 見守りICT機器活用事例紹介講座に参加 ※3月21日(火)に「見守り安心サービス」広報メールを全組合員(見守り安心サービス利用者除く)に配信しました。	—
		○地域見守りネットワーク会議への参加 ○会館会議室や地域交流スペースの活用による区民交流の場の提供 ○災害ボランティア講座の開催	東京都生活協同組合連合会	—	—	●桃園フードパントリーへの当日運営協力。会員生協よりお米を寄贈、また当会会館でフードドライブを実施し、物資を提供。 ●生協組合員・役員員向けの災害ボランティア養成講座を開催。プログラムに当会会館周辺の防災まち歩きを実施。中野視覚障害者福祉協会、近隣町会のご協力により実施。 ●当会会議室での中野区元気アップ体操や地域の学習支援等の実施、地域交流スペースではカフェ等で実施で活用。 ●地域見守りネットワーク会議区内の会員生協とともに出席。	—

【柱4】 地域の見守り支えあい

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値	
(1)地域における見守り支えあいの推進と、交流の場や機会の創出	<p>●気軽に地域の情報に触れ、中野のまちに関心や愛着を持ち、区や地域を身近に感じることができるための取組を進める。</p> <p>●常日頃からのご近所同士のつながりやあいさつ等、互いの顔が見え、困りごとがあった時に助け合えるような人間関係が構築される取組を進める</p>	○水道メーターの定期検針や再調査時等において気づいた異変情報を区福祉部署に提供する	東京都水道局杉並営業所	—	—	<p>●水道メーターの定期検針時に水道使用量の急増などから、居住者の異変を感じ、区福祉部署へ情報提供した事案が4件あった。</p> <p>●水道・下水道料金支払困難者を対象に「支払猶予の受付」を行った。また、催告文書に福祉部署の案内を明記した。</p>	—	
		○屋内停電等の訪問要請があった際、独居と思われる方には、地域とのつながりや公的サービス受容の有無など外部との接点について聴取する	東京電力パワーグリッド株式会社 荻窪支店	—	—	<p>日常生活において、区民のみならずからの訪問要請の際、プライバシーに配慮しつつ独居・高齢者をキーワードに声かけを実施。地域包括支援センターはじめ関係各署へ通報といった具体的事例はないが、訪問サービス員には意識づけしている。</p>	—	
		客先訪問時の見守りと自治体の発信する情報の周知	明治安田生命保険相互会社 新宿支社	—	—	<p>①認知症サポートリーダー養成講座を9名が受講・認定となった。区内のオレンジカフェの所在地情報を共有しながら立ち寄りに務めた</p> <p>②中野区南口商店街の清掃・防犯パトロールに参加。3日間計14名が参加させて頂いた</p> <p>③お客様訪問時に行政に関する情報を区民の方々に提供</p>	—	
		★人とまちを知るための情報発信	地域活動推進課	○SNS等の活用による情報発信	①近所との付き合いがほとんどない区民の割合	21.6%	20.9%	18%
		○転入時等の地域情報の提供						
		身近な地域の人と知り合うきっかけづくり	地域活動推進課	○地域団体活動支援事業	②住民同士の交流の場があると感じている区民の割合	32.2%	29.7%	40%
		○まちなかサロン事業等居場所の立ち上げ支援、助成金、意見交換の場、研修などの実施		中野区社会福祉協議会	○居場所活動をしている団体の情報交換を行い、コロナ禍での活動のあり方、モチベーションの維持、連携等を支援する	①社会的孤立にある人や生きづらさを抱えた方(ひきこもりや外国人世帯等)も含め、様々な区民が参加できる居場所の数(情報掲載できる数)	406か所	居場所情報掲載数362か所
		○子どもほっとネットinなかの(事務局)を通して助成金の案内や活動PR等を通じて各団体の活動の活性化と、ネットワークを活用した支援活動を展開	②社協が進める「まちなかサロン」への参加人数(延べ参加人数)		2,809人	まちなかサロン参加人数(延べ人数)7,282人	12,000人	
		○子どもほっとネットinなかの(事務局)を通して助成金の案内や活動PR等を通じて各団体の活動の活性化と、ネットワークを活用した支援活動を展開	③子どもの貧困に取り組む団体が増加している。(子ども食堂・学習支援50団体)		24団体	子どもほっとネットinなかの加入団体数51団体	50団体	
		○子どもほっとネットinなかの(事務局)を通して助成金の案内や活動PR等を通じて各団体の活動の活性化と、ネットワークを活用した支援活動を展開						

【柱4】 地域の見守り支えあい

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(1)地域における見守り支えあいの推進と、交流の場や機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の様々な課題の見える化とその課題を解決するための仕組みづくりを進めるとともに、地域で活動する新たな人材の発掘に向けた取組を進める。 ●地域での活動の核である町会・自治会への加入の促進や町会・自治会活動の担い手として、多くの区民が参加できるような支援を進める。 ●NPO法人などの多様な公益的な活動 団体が行う、自主的な活動の支援を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護司活動を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護の取組 ○保護司活動や「社会を明るくする運動」を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護・再犯防止普及啓発 	保護司	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ●すこやか地域ケア会議へのオブザーバー参加(年3回) ●再犯防止推進支援者研修会での講義及び参加 ●「社会を明るくする運動」強調月間において街頭啓発活動や各地区推進委員会で啓発イベントを実施 ●「社会を明るくする運動」作文コンテストを実施。参加学校21校 応募作品753作 	—
		<ul style="list-style-type: none"> ★地域の課題解決に向けた関係機関の連携の強化 ○区民団体連携支援事業 ★町会・自治会と区との連携の強化 ○町会・自治会活動強化支援事業 ★地域における公益的な活動を担う人材・団体に対する支援の強化 ○地域人材育成・マッチング事業 ○地域における公益的な活動団体活性化支援事業 	地域活動推進課	①最近1年間に地域活動に関わっていない人の割合	31.7%	33.3%	25%
	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援活動の活性化に向け、子育て支援を担う人材の発掘や子育て関連団体のネットワーク化を進める。 ●子育て家庭が地域の中で安心して暮らせるよう、区民相互の助け合いによる子育て支援活動を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民の理解と参加を深めるため、広報紙の発行による活動状況の周知 ○地域内の団体・関係機関との連携による地域の環境の点検及び啓発活動 ○キャンプ、ハイキングなどの事業を通じた子どもと大人、子ども同士、大人同士の交流の機会や体験の場の提供 ○小学生を中心にミニリーダー講習会などを実施し、子どもたちが地域で集まって楽しめる場所の提供 ○育成者及び年少リーダーの養成 ○交流やルールの遵守、体力向上などを目的としたスポーツ大会の開催 ○地区委員や地域の育成者を対象とした研修の実施、地域住民を対象とした講演会の開催 	青少年育成地区委員会	—	—	ミニリーダー講習会…11地区 その他、地区祭りやスポーツ大会等、子どもたちの健全育成に資する行事、活動に取り組んだ。 また、各地区委員会で広報紙を発行し、地区委員会の活動について広報活動を行った。 広報紙発行総回数…33回 広報紙配布総部数…104,391部	—
		<ul style="list-style-type: none"> ★地域の子育て支援施設の機能強化 ○児童館における子育て活動支援事業 ★子育て関連団体への支援の強化 ○育成団体支援事業 	育成活動推進課	①子育て支援活動に参加した区民の割合	4.7%	3.1%	10%

【柱4】 地域の見守り支えあい

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(1)地域における見守り支えあいの推進と、交流の場や機会の創出	<p>●特別な配慮を必要とする子どもとその家庭の置かれている状況や特性に応じて、必要な支援が受けられるよう、一貫した相談支援体制の充実に努める。</p> <p>●発達課題や障害のある子どもとその家庭が地域で孤立することがないよう、発達障害等に関する区民の理解の促進や保護者同士がつながり、交流する機会の創出に向けた取組等を推進する。</p>	<p>日本語に不安がある子ども、その保護者、大人向け支援</p> <p>○子どもの発達に合った学習の支援 (必要に応じて臨床心理士・言語聴覚士・社会福祉士などが協力)</p> <p>○保護者向けに発達相談等</p> <p>○やさしいほんごクラスの開催</p>	NPO法人 HATI JAPAN 多文化多言語の子ども発達支援	—	—	<p>1.「げつよう②④ひろば」年22回実施。</p> <p>2.「がらすひろば」年23回実施。</p> <p>3.「多様なニーズを持つ子ども・保護者を対象とする学習支援・子育て支援事業 いんくるスペースささのみや」年6回実施。</p> <p>4.地域ワークショップセミナー「やさしい日本語で地域の外国人と話そう！～災害時でも日本人と外国人が安心できる居場所をつくる～」2022年9月3日開催 参加者延べ約50人。</p> <p>5.専門家個別相談支援 年14回実施。</p> <p>6.オンラインセミナー「日本語教育と特別支援教育をつなぐ会」年6回開催。</p>	—
	<p>●高齢者の日常生活を支え、支援を必要とする高齢者を早期に見出し、必要な支援につながるよう、地域の見守り・支えあい活動やICT(情報通信技術)を活用した見守りを充実させる。</p> <p>●今後も進展を続ける高齢社会に対応できる体制を構築していくために、関係機関等の連携を推進するとともに、身近な地域における高齢者の相談支援体制を充実させる。</p>	<p>○地域の顔として住民と専門職・行政のパイプ役となる (町会・自治会、防災・都市安全分野、警察署、消防署との連携)</p>	中野区民生児童委員協議会	—	—	日頃より、住民からの相談に応じて行政や関係機関につなぐパイプ役として活動している。 令和4年度には、民生児童委員全員に東京都からモバイルPCが配布された。	—
		○地域支えあい見守り活動及び生活支援活動の実施	中野区友愛クラブ連合会	①会員増員計画～仲間を増やそうキャンペーン～	—	”仲間を増やそうキャンペーン”は、友愛クラブの知名度が思いのほか低いことを認識するとともに、PR活動を重点課題としてリーフレットの作成とパネル展を中心に行った。リーフレットは、中野区町会連合会様に協力をお願いし、中野区の町会・自治会回覧ルートと掲示板を利用していただき、全家庭に友愛クラブのPRを行った。パネル展については、中野区本庁舎をはじめ、地区連単位への展開を目標みテスト的に南中野地域他3カ所ですてテスト的に実施し、実効をもとに令和5年度全地域展開への手応えを実感した。	—
				②地区連合会(以下、地区連)事業の活性化・魅力づくり-	—	1町会1クラブの実現の前に、コロナ禍の影響もあって休会・休止クラブの出現ならびに会員の減少が顕著で、その歯止めを掛ける策を最優先とした。 地区連会長会を定期的に行い情報交換を通して、現状把握と活性化・会員減少への諸作を健闘した。令和4年度地区連への助成制度の充実に努めた。	—
		★要介護予備軍(年齢の平均よりも機能低下がある方)、介入の必要があるのに介入拒否のある方、情報が届かない方、多問題を抱えている方等へ	中野区地域包括支援センター	○最近1年間に地域活動に関わっていない人の割合	31.7%	33.3%	25%

【柱4】 地域の見守り支えあい

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(1)地域における見守り支えあいの推進と、交流の場や機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の日常生活を支え、支援を必要とする高齢者を早期に発見し、必要な支援につながるよう、地域の見守り・支えあい活動やICT(情報通信技術)を活用した見守りを充実させる。 ●今後も進展を続ける高齢社会に対応できる体制を構築していくために、関係機関等の連携を推進するとともに、身近な地域における高齢者の相談支援体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の見守り・支えあいの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の見守り・支えあい推進事業 ★高齢者の相談支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○すこやか福祉センター整備・運営 ○地域包括支援センター整備・運営 ○地域ケア会議運営 ○アウトリーチ活動の推進 	地域活動推進課 地域包括ケア推進課 すこやか福祉センター	①「何かあったときに相談する相手がいる」と思う高齢者の割合	51.7%	52.2%	55%
		<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な消費生活の確保 <ul style="list-style-type: none"> ○消費生活相談 ○消費生活普及啓発事業 	区民文化国際課 消費生活センター	②地域包括支援センターを身近に感じる人の割合(50歳代以上)	22.9%	21.7%	30%
	<ul style="list-style-type: none"> ●就労や地域活動等により、いくつになっても居場所を持ち、活躍できる環境の充実を図る。 ●興味・関心や趣味を通じた多様な形での交流・つながりが生まれる環境づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ★孤立を防ぐつながり・交流機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○友愛クラブ活動支援事業 ○地域団体活動支援事業 	地域活動推進課 介護・高齢者支援課	①収入のある仕事を週1回以上している65歳以上の区民の割合	27%	25%	35%
				②60歳代以上における地域活動を行っている割合	60歳代: 22.7% 70歳代: 38.3% 80歳以上: 36.5%	60歳:35.1% 70歳:27.3% 80歳以上:35%	45%
(2)避難行動要支援者への避難支援	<ul style="list-style-type: none"> ●地震や台風、局地的集中豪雨など大規模自然災害の発生時における人命の保護を最大限に図るとともに、迅速な復旧・復興に向けた体制づくりを進める。 ●防災活動の担い手の育成や日常的な地域のつながりの形成、自助・共助による防災の取組を進める。 	避難行動要支援者への避難支援 <ul style="list-style-type: none"> ○災害時避難行動要支援者支援事業 	地域活動推進課 防災危機管理課	②飲料水・食料を備蓄している区民の割合	飲料水 60.3% 食料 56.4%	飲料水 61.7% 食料 57.9%	飲料水 75% 食料 65%